

[別紙⑤]

特別活動 概要

2020年度児童会役員は、高学年である自分や友だちが、SNSによる人間関係のトラブルを生んでいることに悩んでいた。そのようなとき、校区である衣川中学校の生徒会が、「SNSの使い方」を生徒自身が考え作成し、全校生徒で取り組んでいることを、児童会担当の教師から聞き知ることとなった。

そこから、衣川中学校の「SNSの使い方」を参考にして、大観小学校の子どもたちに合った「SNSの使い方」を考え、途中まで作成することができた。

2021年度児童会役員は、それを引き継いで活動を進めてきている。

6月16日段階

ネットモラルとルールについての取組…「大観こあじ宣言」

こ・・・個人情報をおせない（個人情報の保護）

あ・・・相手の気持ちを考える（他者尊重）

じ・・・時間を守って使う（時間順守）

8月の明石こどもサミットにて、明石市のデジタル標語の作成に取りかかったことをもとに、9月には、大観小学校での取組へと具体化する会議が始まった。

大観こあじ宣言の内容を子どもサミットの内容にすりあわせる形で修正し、ネットモラルやルールについて、児童向けに作成したものを全校児童に伝える予定（3学期実施）である。

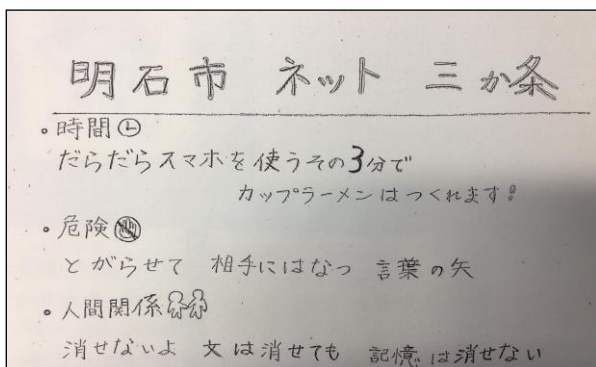
明石市内の児童&生徒会の交流場面



ネット利活用における問題点を
KJ法で分類し、課題解決へ



課題解決のための標語
(明石ネット三か条) 作り



明石ネット三か条に基づいた
大観小こあじ宣言改善会議

